

2019年3月期 第2四半期 ダイジェスト資料 (1)

【上期実績及び通期計画】

(連 結) (単位: 百万円、%)

	2018年3月期		2019年3月期							
	2Q実績	上期実績	2Q実績	上期実績	上期 前年差	上期 増減率	期初計画	2Q時 通期見込	期初計画 との差	
売上高	324,014	627,060	313,622	618,000	△ 9,060	△ 1.4	1,310,000	1,260,000	△ 50,000	
加工事業本部	89,285	172,513	90,131	174,463	1,950	1.1	-	-	-	
食肉事業本部	196,496	389,597	189,907	379,135	△ 10,462	△ 2.7	-	-	-	
関連企業本部	41,643	79,925	39,408	75,952	△ 3,973	△ 5.0	-	-	-	
海外事業本部	70,098	127,108	67,499	131,657	4,549	3.6	-	-	-	
消去・調整他	△ 73,508	△ 142,083	△ 73,323	△ 143,207	△ 1,124	-	-	-	-	
営業利益	12,879	29,814	7,622	21,422	△ 8,392	△ 28.1	50,000	36,000	△ 14,000	
加工事業本部	1,555	2,887	1,420	2,753	△ 134	△ 4.6	8,500	7,700	△ 800	
食肉事業本部	11,815	25,505	8,495	18,252	△ 7,253	△ 28.4	44,000	36,000	△ 8,000	
関連企業本部	494	1,164	175	193	△ 971	△ 83.4	3,000	1,300	△ 1,700	
海外事業本部	△ 1,194	△ 1,361	△ 798	△ 855	506	-	500	△ 2,000	△ 2,500	
消去・調整他	209	1,619	△ 1,670	1,079	△ 540	-	△ 6,000	△ 7,000	△ 1,000	
税引前利益	15,109	30,716	7,905	23,173	△ 7,543	△ 24.6	-	-	-	
法人税等	4,692	9,732	2,828	7,051	△ 2,681	△ 27.5	-	-	-	
当社株主帰属当期利益	10,298	20,617	5,266	16,371	△ 4,246	△ 20.6	32,000	23,000	△ 9,000	

【設備投資、減価償却費】

(連 結) (単位: 百万円、%)

区 分	2018年3月期	2019年3月期			
	上期実績	2Q実績	前年差	増減率 (%)	通期計画
設備投資額合計	14,818	23,027	8,209	55.4	83,500
加工事業本部	4,041	3,974	△ 67	△ 1.7	20,000
食肉事業本部	5,761	8,815	3,054	53.0	37,100
関連企業本部	2,675	6,555	3,880	145.0	11,500
海外事業本部	1,510	2,288	778	51.5	11,200
その他設備	831	1,395	564	67.9	3,700
減価償却費	10,106	10,769	663	6.6	22,500

【海外事業本部の内訳】

(単位: 百万円、%)

	2018年3月期			2019年3月期								
	2Q実績	上期実績	上期 売上高比	2Q実績	上期実績	売上高比	上期 前年差	上期 増減率	期初計画	2Q時 通期見込	期初計画 との差	
海外	70,098	127,108	-	67,499	131,657	-	4,549	3.6	-	-	-	
事業本部計												
外部顧客に対する売上高	36,403	62,352	49.1	33,857	67,049	50.9	4,697	7.5	-	-	-	
セグメント間の内部売上高	33,695	64,756	50.9	33,642	64,608	49.1	△ 148	△ 0.2	-	-	-	
営業利益	△ 1,194	△ 1,361	-	△ 798	△ 855	-	506	-	500	△ 2,000	△ 2,500	
豪州	29,099	48,339	-	26,407	52,668	-	4,329	9.0	-	-	-	
外部顧客に対する売上高	24,137	38,559	79.8	21,932	43,353	82.3	4,794	12.4	-	-	-	
セグメント間の内部売上高	4,962	9,780	20.2	4,475	9,315	17.7	△ 465	△ 4.8	-	-	-	
営業利益	△ 839	△ 1,263	-	△ 482	△ 471	-	792	-	200	△ 670	△ 870	
米州	20,198	38,783	-	20,932	40,314	-	1,531	3.9	-	-	-	
外部顧客に対する売上高	5,621	10,664	27.5	5,801	11,339	28.1	675	6.3	-	-	-	
セグメント間の内部売上高	14,577	28,119	72.5	15,131	28,975	71.9	856	3.0	-	-	-	
営業利益	△ 177	△ 199	-	△ 248	△ 38	-	161	-	560	△ 300	△ 860	
アジア・欧州	21,608	41,233	-	20,871	40,251	-	△ 982	△ 2.4	-	-	-	
外部顧客に対する売上高	6,645	13,129	31.8	6,122	12,356	30.7	△ 773	△ 5.9	-	-	-	
セグメント間の内部売上高	14,963	28,104	68.2	14,749	27,895	69.3	△ 209	△ 0.7	-	-	-	
営業利益	65	561	1.4	188	204	0.5	△ 357	△ 63.6	640	120	△ 520	

※2019年3月期第1四半期よりIFRSを適用しています。

2018年3月期はIFRSに遡及修正しています。

【売上金額実績】

(単位: 百万円、%)

品 種	2018年3月期		2019年3月期								
	2Q実績	上期実績	2Q実績	上期実績	上期 前年差	上期 増減率	上期数量 伸長率	1Q時 通期見込	2Q時 通期見込	1Q時 との差	
ハム・ソーセージ	33,040	63,954	32,159	62,653	△ 1,301	△ 2.0	△ 1.1	140,400	131,800	△ 8,600	
加工食品	58,305	113,064	59,574	115,107	2,043	1.8	△ 0.6	243,300	238,600	△ 4,700	
食 肉	185,795	360,220	177,025	353,222	△ 6,998	△ 1.9	1.2	744,900	718,300	△ 26,600	
牛 肉	78,988	146,965	75,425	150,455	3,490	2.4	9.2	312,500	302,800	△ 9,700	
豚 肉	57,359	113,278	57,032	111,937	△ 1,341	△ 1.2	1.2	230,200	225,100	△ 5,100	
鶏 肉	42,653	86,757	37,684	77,259	△ 9,498	△ 10.9	△ 3.8	177,800	165,600	△ 12,200	
その他食肉	6,795	13,220	6,884	13,571	351	2.7	△ 0.9	24,400	24,800	400	
水 産	24,307	45,198	22,559	42,116	△ 3,082	△ 6.8	△ 13.7	96,600	91,100	△ 5,500	
乳製品	8,541	17,115	8,499	17,058	△ 57	△ 0.3	△ 1.5	36,200	34,600	△ 1,600	
その他	14,026	27,509	13,806	27,844	335	1.2	-	48,600	45,600	△ 3,000	
合 計	324,014	627,060	313,622	618,000	△ 9,060	△ 1.4	-	1,310,000	1,260,000	△ 50,000	

2019年3月期 第2四半期 ダイジェスト資料 (2)

【セグメント別営業利益見込みと営業利益増減計画差要因】

[連結計]

(単位：百万円)

売上高	1 Q時 上期見込	上期実績	差異
加工事業本部	-	174,463	-
食肉事業本部	-	379,135	-
関連企業本部	-	75,952	-
海外事業本部	-	131,657	-
消去・調整他	-	△ 143,207	-
計	650,000	618,000	△ 32,000

2 Q時 3 Q見込	2 Q時 下期見込
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

1 Q時 通期見込	2 Q時 通期見込	差異
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
1,310,000	1,260,000	△ 50,000

(単位：億円)

営業利益	1 Q時 上期見込	上期実績	差異
加工事業本部	37	28	△ 10
食肉事業本部	213	183	△ 31
関連企業本部	14	2	△ 12
海外事業本部	△ 3	△ 9	△ 6
消去・調整他	39	11	△ 28
計	300	214	△ 86

2 Q時 3 Q見込	2 Q時 下期見込
53	50
105	178
14	11
△ 9	△ 11
△ 18	△ 81
145	146

1 Q時 通期見込	2 Q時 通期見込	差異
85	77	△ 8
440	360	△ 80
30	13	△ 17
5	△ 20	△ 25
△ 60	△ 70	△ 10
500	360	△ 140

営業利益増減要因 (上期)

加工事業本部：上期実績は、1 Q時上期見込に対して△10億円となった。通期計画では、1 Q時見直し計画から8億円の下方修正。
食肉事業本部：上期実績は、1 Q時上期見込に対して△31億円となった。通期計画では、1 Q時見直し計画から80億円の下方修正。
関連企業本部：上期実績は、1 Q時上期見込に対して△12億円となった。通期計画では、1 Q時見直し計画から17億円の下方修正。
海外事業本部：上期実績は、1 Q時上期見込に対して△6億円となった。通期計画では、1 Q時見直し計画から25億円の下方修正。

上期実績で1 Q時上期見込から86億円下振れし、営業利益214億円となった。今期通期営業利益計画を140億円減額し、360億円とした。

[加工事業本部]

(単位：億円)

営業利益	1 Q時 上期見込	上期実績	差異	
営業利益	37	28	△ 10	
増減要因 内訳	既存事業	17	7	△ 9
	(外部要因：主原料等)	△ 4	△ 4	△ 0
	(内部要因①：数量拡大)	1	0	△ 0
	(内部要因②：改善改善)	20	12	△ 9
	育成事業	△ 0	△ 0	△ 0
	その他要因	△ 8	△ 9	△ 0
合計	8	△ 1	△ 10	

2 Q時 3 Q見込	2 Q時 下期見込
53	50
4	8
0	△ 2
0	0
4	9
1	3
2	10
8	20

1 Q時 通期見込	2 Q時 通期見込	差異
85	77	△ 8
25	15	△ 10
△ 12	△ 6	6
3	0	△ 2
35	21	△ 14
3	2	△ 1
△ 2	1	3
26	18	△ 8

営業利益増減計画差要因 (上期)

改善活動が想定を下回ったことが響き、1 Q時上期見込から全体で10億円計画に届かず。
数量拡大は前年並みにとどまり、改善活動も計画通り進まず計画未達となった。
主原料価格、副資材・電燃料は計画通りとなった。
数量拡大は計画並みとなった。
コンシューマ伸長により品種構成は好転したが、改善活動が計画に届かなかった。
育成事業は計画通りに推移した。

[食肉事業本部]

(単位：億円)

営業利益	1 Q時 上期見込	上期実績	差異	
営業利益	213	183	△ 31	
増減要因 内訳	輸入食肉市況	△ 7	△ 13	△ 5
	国内食肉市況	△ 3	△ 13	△ 10
	国内ファーム事業の変動	△ 25	△ 28	△ 3
	フード事業の伸長	△ 0	△ 11	△ 11
	その他要因	△ 7	△ 8	△ 1
	合計	△ 42	△ 73	△ 31

2 Q時 3 Q見込	2 Q時 下期見込
105	178
△ 1	8
△ 5	△ 11
△ 18	△ 30
△ 4	△ 6
0	0
△ 28	△ 39

1 Q時 通期見込	2 Q時 通期見込	差異
440	360	△ 80
14	△ 5	△ 18
△ 5	△ 24	△ 19
△ 26	△ 58	△ 32
△ 7	△ 17	△ 10
△ 7	△ 7	△ 1
△ 32	△ 112	△ 80

営業利益増減計画差要因 (上期)

国産鶏肉市況が昨年比で軟調に推移したことと災害発生の影響が響き、上期計画に約31億円届かず。通期でも大幅な減額修正となった。
世界的に堅調な需要を背景に牛肉が高値で推移したため計画を下回った。
国産牛肉の市況高や国産豚肉変動により計画を下回った。
国産鶏肉が、各社の増産により供給が安定していたことや、天候不順による消費の減退で相場が軟調に推移し、計画を下回った。
労務コストの上昇により物流事業が苦戦したことや、台風の影響などで計画を下回った。

[海外事業本部]

(単位：億円)

営業利益	1 Q時 上期見込	上期実績	差異	
営業利益	△ 3	△ 9	△ 6	
増減要因 内訳	豪州事業	13	8	△ 5
	米州事業	2	2	△ 1
	アジア・欧州事業	△ 2	△ 4	△ 2
	その他要因	△ 2	△ 1	1
合計	11	5	△ 6	

2 Q時 3 Q見込	2 Q時 下期見込
△ 9	△ 11
6	16
△ 1	1
3	7
0	△ 2
8	22

1 Q時 通期見込	2 Q時 通期見込	差異
5	△ 20	△ 25
32	24	△ 9
12	3	△ 9
8	3	△ 5
0	△ 3	△ 3
52	27	△ 25

営業利益増減計画差要因 (上期)

各事業での計画未達が重なりが全体として約6億円の未達となった。通期でも約25億円減額し、20億円の営業利益赤字に下方修正。
ウルグアイが生体の集荷環境の悪化や周辺競合国の通貨安の影響で苦戦し、計画を下回った。□
日本向けの食肉輸出環境は好調に推移したが、加工食品の販売競争で苦戦し、計画並みとなった。
トルコ エゲタブ社は事業環境が厳しい中収益を確保することができたが、タイにおける鶏肉加工品の輸出数量が苦戦し計画を下回った。□

和・差と合計が一致しない場合があります。